



JMRCA 平成 27 年度 1/10 スケール 電動ツーリング カー 全日本選手権 <スーパー エキスパート・オープン クラス> 注意事項

1 モーター検査

- 大会受付終了後、コントロールプラクティスの前までに事前に今回使用するモーターを車体より取りはずしたモーター単体(配線やコネクタ類のない状態)でモーターチェックを受けて検査を通過したモーターにマーキングをいたします。(練習走行はマーキングなしの物も使用できますが、コントロールプラクティスからはモーターにマーキングされた物以外を使用して出走は出来ません。)
- 前車検ではモーターのマーキングを確認いたします。
- 車検場混乱防止の為、チェックを受けて使用できるモーター個数は 4 個までに制限します。
- モーターの抵抗値は $27m\Omega/24$ 度に換算した数値を検査基準で使用いたします。
- 測定は外気温とモーター自体の温度と抵抗値を計測し、測定器による温度補正した数値を使用。
- モーターメーカー各社は参加選手のモーターが基準値に適合しているか、事前に確認のご協力をお願いいたします。
- 抵抗値の低いモーターにつきましては本大会では使用できませんのでご注意ください。

2 練習走行

- 走行時トランスポンダーチェックを行うので、レースで使用するものを搭載する事。2 台以上の車を使用する場合は、フラッグマンにメインの車がどれであるかを伝える事。
- 必ずゼッケンを三箇所貼る事。(フロント部 1 枚、左右 1 枚ずつ)
インターバルは 1 分のみ。次の選手はコントロールタワー近くの待機場所にて待機する事。又、車の回収、入れ替えは速やかな対応をする事。

3 レース前

- 全車走行前に車検を受ける事。
- ID カードは必ず見えるところに着用の事。

4 レース時

- 予選は 5 分間の周回レース。予選を 6 ラウンド行い、その内のベスト 3 ラウンドの合計ポイントにて順位を決定する。レース スタートから 6 分を計測した時点(1 分間のオーバータイム)でそのヒートは終了となる。
- スタート方法はスタッガー方式。スタート 30 秒前までにスタート ラインに集合すること。10 秒前までにスタートラインに並べない場合は、ピット スタート又は最後尾スタートとなる。
- 予選の出走順は、予選第 1 ラウンド・第 2 ラウンドと第 3 ラウンドはゼッケン順、その他のラウンドは前ヒートの成績順にスタートする。スタート時はフラッグマンの指示に従う事。ヒートの組替えが行われた次のラウンドはゼッケン順にてスタートする。※コントロールタワーへの入場もこの順番で行う。
- ペナルティの対象(選手用)
走行中、ペナルティ対象の選手には、レフリーの判断により STOP & GO 他のペナルティを与える。ペナルティのコールを受けた選手は、「GO」の合図があるまで、速やかにペナルティ BOX 内に車を停車させる事。停車させる時間は、ペナルティの大小によりレフリーが決定する。
・例外として最終ラップでのペナルティは、タイムペナルティとし、ゴールタイムに 1 秒~10 秒を加算します。加算タイムは、ペナルティの大小を見てジャッジの判定にて決定する(STOP & GO 出来ないケースがあるため)。あまりにも悪質なバッドドライビングを行った選手は即時失格とする。

ペナルティ対象バッドドライブ

- 1: ショートカット
- 2: 逆走
- 3: 明らかに速い車が後ろから近付いてきた場合に、走行ラインを譲らない時(周回遅れの時と、同周回数の時も同様)
- 4: 後方からの無理な追突によるプッシング行為

- 5: サイドから追突・接触しての場外への無理な押し出し
- 6: フライング(ジャンプスタート)
- 7: 操縦台での他選手に対しての暴言
- 8: 決勝レース中に周回遅れでブロックを行う行為

- ペナルティの対象(助手用)
 - ・ピットロードへの立ち入り
 - ・助手(メカニック)の暴言
- レース中に以下のパーツが脱落もしくは破損した場合には、走行は続行できるが後車検を受け、車検をパスしなければならない。又、他車の妨害になると審判が判断した場合には走行を中止させる事がある。対象パーツ: サスアーム、タイロッド類、ダンパー、ビス類、ウエイトなど。又、レース中に以下のパーツが脱落した場合にはリタイヤ又は、ピットインしての修理となります。対象パーツ: リアウイング・ボディ・タイヤ・ホイール・トランスポンダー。

5 走行終了

- プロポはピットに持ち帰らず、指定場所に返却し速やかにコースマーシャルポストに着くこと。
- 全車走行後に車検を受ける事。Aメイン終了後は、スタッフが全車を回収する。
- コースマーシャル時にはビブスを着用、サンダル履き、飲食、喫煙、私語は禁止。
- コースマーシャルは車を修理する事は出来ない。但しボディの巻き込み、へこみの修復は可。
- マーシャル以外はレース中の車を助ける事は出来ない。コース外に車が出た場合もマーシャルが対応する事。
- マーキングされたタイヤは、最終日を除き、毎日のレース終了後、全て本部に預ける事。

6 抗議

- 抗議を行う時は、書面により抗議補償金(¥5,000)を添えて、各結果発表後10分以内に競技委員長に提出すること。抗議不成立の場合、抗議補償金は返却されない。但し計時、周回、フライング、ショートカット等は、口頭にて競技委員長に申し出る事が出来る。

7 その他

- バッテリーの充電は必ずセーフティーバッグに入れて行う事。
- 喫煙は所定の場所に限る。
- フラッシュ撮影の禁止、決勝スタート時は、関係者全員、携帯電話をマナーモードに設定すること。
- 天候により競技の続行が不可能な場合、同一条件で行われたラウンドの成績により順位を決定する。

*** 以上、各選手がマナーを守ってクリーンなレースを心がけて下さい。**

JMRCA

日本モデルラジオコントロール協会